

音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化(【中】生活や社会、伝統や文化)などに関連付けること

例えば、小学校4年の題材  
「曲のとちょうをとらえて演奏しよう」  
(「A表現」器楽)では・・・



「エーデルワイス」の曲の特徴を捉え  
表現を工夫してリコーダーを演奏する。

教員が「見方・考え方」を意識しないと・・・

表現を工夫して演奏しよう

どのように工夫したら  
いいのかな・・・



子供たちは、それぞれの見方・考え方で曲の特徴を捉え、漠然と表現を工夫していた。

子供が「見方・考え方」を働かせると・・・

「エーデルワイス」の特徴を捉えて、  
リコーダーの表現を工夫しよう

3段目のはじめは、リズム  
が変わって、はずんだ感じに  
なるな・・・



子供たちは、音楽を形づくっている要素に着目し、  
それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを捉え、  
どのように工夫したいかについて思いや意図をもつ。

どのような音楽的な見方・考え方をしているのか・・・

子供たちの問い:「エーデルワイス」の特徴を表すにはどのように工夫して  
リコーダーを演奏するといいかな・・・。

4小節で上がって下がる旋律が繰り返しているから、4小節のまとまりを大事にして、音と音をつなげるように吹こう。  
(主に「旋律」に着目して)

3段目で(リズムが変わって)はずんだ感じに変わるから、2段目までと吹き方を変えて、音を短く切ってはっきりと吹きたいな。(主に「変化」「リズム」に着目して)

2段目と4段目は旋律が同じだけど、4段目は終わりに向かうから、『ずっときれいに咲いてほしいな』という思いを込めて優しい音色で吹きたいな。  
(主に「反復」「音色」に着目して)



音楽を形づくっている要素とその働きに着目して楽曲を捉え、  
表現したい思いや意図をもつ子供の学びの姿

例えば、「振り返り」の場面で、自分の表現の工夫を振り返ることで

音楽を形づくっている要素とその働きで音楽を捉えて工夫すると、「エーデルワイス」の曲想に合う演奏をすることができた。他の曲でも、同じように工夫して演奏したいな。

子供たちは、音楽的な見方・考え方をより意識して働かせるようになる。